

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にすることを 持ち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

飛鳥の地域で生きる喜びを感じる子どもが育つこと。そのために、地域と学校がより密につながる場と機会を作り、これまで以上に地域で子どもを育む環境を整えること。また、地域の土台となる家庭を支え、地域の中で教師が育ち、学校園と関わる地域人材が育つこと。

【今年度の取組紹介】

飛鳥中学校区では、「飛鳥ブランドの子ども」として、一幼・一小・一中の強みを生かして、幼小中をひと続きとして、子どもたちの価値観を多様に育て、子どもたちの豊かな育ちを支援しています。家庭任せ、学校任せではなく、地域のみんなで地域の子どもたちを育てるために、常に地域の協働を軸とした取組をしています。今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、地域の大きなイベントである飛鳥フェスティバルをはじめとする様々な取組を行うことができませんでしたが、『できないことよりできることを考える方が楽しい』との思いを胸に、地域の方々と中学校生徒会が連携して、「愛（I）を叫ぼう」と題した、生徒の思いを主張するイベントを企画したりと、幼小中において様々な制限の中でも何かできることをしていこうという、地域・学校園の強い絆を再確認できた1年でした。また、「飛鳥CSだより」の発行も継続して行い、校区の取組を広く地域全体に知ってもらうことができました。



【今年度のまとめ】

様々な制限下で例年の取組ができなかったからこそ、今一度、協議会として、これまでの活動を振り返り、これからの方向性を吟味する機会になったと思います。中学校のアートパフォーマンス部と連携をした「地域教育協議会 T シャツ」の作成など、これまでになかった活動も生まれました。自分もこの地域の一員であることを自覚し、自分はどのように頑張りたいかを言えるようになったり、取組の準備から片付けまでを主体的に行動できる活動を続けていきたいと思っています。

【来年度に向けて】

今年度の取組紹介の中にも挙げたように、今後も継続して「飛鳥CSだより」の発行を行い、より広く地域に協議会の取組を知ってもらい、ボランティアなどの形で活動に参加してもらえ、裾野を広げていきたいとおもいます。

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にすることを 持ち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

自分を知り、自己の考えを育て、それを皆の前で表現し、行動できる力を育てる

【今年度の取組紹介】

平成29年度から、本校区では地域コーディネーターが中心となって、飛鳥小、中学校それぞれで学習支援を行っていただいています。中学校では、地域の学習支援ボランティアや校区内にある大学の学生による学習支援ボランティアなどをコーディネートしてもらい、毎週あすかスタサポ（放課後学習教室）を開室（定期テスト前には毎日開室）していただいています。この取組も4年目を迎え、必ずこの教室に来る生徒も増え、定着してきています。今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、テスト前に図書室に集まっての学習はできませんでしたが、各学年ごとに別れての学習には、たくさんの生徒が取り組んでいました。学習の成果も出始めた生徒は「やればできる」という自尊感情を少しずつではあるが高めることができます。

また、飛鳥中学校区では、子どもと大人、保護者と地域と学校（教職員、生徒）が協働することを目標にして、例年ならば、校内環境整備事業による花いっぱい運動の推進、タペのコンサートやあすかフェスティバル、校内クリーンキャンペーンなどによる地域行事・育友会行事の活用など、様々な場面で生徒と地域とが関わり合える取組を推進してきており、今年も、地域の方々による3年生の面接練習などを継続して行ったり、アートパフォーマンス部との連携をした「地域教育協議会 T シャツ」の作成などの新たな取組も行うことができました。



【今年度のまとめ】

「未来を切り拓く力」の育成に向けて地域行事、学校行事、そしてキャリア教育においても、常に地域との協働を基本にすえて活動に取り組んできたこれまでの実績を基に、新型コロナウイルス感染拡大の影響の中でも「できることを工夫していこう」という、地域と学校の柔軟性が試される1年でした。地域の方からの提案で、プロ野球の元読売ジャイアンツ選手「鈴木康友さん」のオンライン講演会が実現するなど、様々な工夫した取り組みを通して、子どもたち自身が地域の方々から自分たちに期待されていることと、常に支援されていることをしっかりと理解し、様々な面で積極的に安心して取り組むことにつなげることができました。

【来年度に向けて】

毎年、「(地域の中で、地域の方と共に) 自ら考え主体的に取り組む」ことをテーマに取り組んでいますが、来年も『キャリア教育』の基盤となる「人と関わる力」「自分に誇りを持つ力」「確かな学力」の育成に向けて、これからもコーディネーターと教職員がしっかりと連携し、地域行事・学校行事での地域との協働を深化しつつ、生徒の学力支援などに取り組んでいきたいと思えます。

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にすることを 持ち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

地域に根差した学習活動等において、地域の方々がより活躍できる出会いの場を計画し、児童が様々な地域の方々と出会うことで、地域のよさに気づき地域を大切にしようとする意識を育てる。

今年度の取組紹介

今年度はコロナ禍の中、例年通りの活動はできませんでしたが、地域の方々がゲストティーチャーにお迎えして授業を行ったり、校外学習の引率補助を地域の方に協力願ったりするなどして、子どもたちが地域の方と出会い触れ合う機会を可能な限り持つことができました。また1年生の奈良公園散策では、地域の方が子どもたちの教育活動を支える様子が見られました。学校を拠点として地域の人々がつながり、地域の教育力を高めることができました。また今年度も2学期末に、地域の方と環境委員会の児童たちが「葉牡丹とお花の寄せ植え」を作成しました。地域の見守り活動に協力をお願いしている方々や校区の公共施設などに、感謝の気持ちを込めたメッセージカードと共に配り回りました。多くの方から感謝の言葉をいただいたことで、子どもたちは地域の方々の良い出会いを経験し、地域を大切にしようとする意識につながる良い取組となりました。



今年度のまとめ

今年度はコロナ禍の中、様々な活動の制限もあり、例年通りとはいきませんが、地域の方々と保護者ボランティアの方々に協力を得ながら、町探検などの地域学習や学校図書室の整備などといった取組に対して、地域の方々の参加できる体制をできる限り整えました。このことにより、地域の方々の学校への関わりや思いが、子どもたちにも確実に伝わっており、いろいろな機会です学校や地域を良くしていこうという気持ちが子どもたちにも広がりました。

来年度に向けて

来年度は一層、小学校も中学校と同様に、地域の教育力を支え高める拠点として機能できるように連携の強化を更に図り、しっかりと見通しと計画をもって様々な事業を実施していきます。また活動に対する評価をしっかりと行い、見直しや改善等が必要な場合は、話し合いを密接に行い、子どもたちと地域がしっかりと繋がることができる充実した取組となるようにしていきたいと思っております。

めざす子ども像

地域に対する誇りと、地域を大切にすることを**もち、自ら考え主体的に行動する子ども**

取組目標

友だちや地域の方々や文化財にかかわり、親しみや感謝の気持ちをもち、大切にしようとする心を育むため、地域との連携を密にする。

【今年度の取組紹介】

◇お米作り

6月の田んぼの土づくりから始まり、田植え、稲刈り、11月末の脱穀、もみすりとお米になるまでを体験。すり鉢と野球のボールを使ってもみすりをすると玄米になり、「わー！おこめができた!!」と大喜びのこどもたちでした。できたお米を使ってご飯を炊き自分たちでおにぎりを握って食べたのですが、白米との違いを比べたり、できたお米の量を見て「ちょっとしかできないなあ」とびっくりしたりしていました。自分たちが普段口にしているものがどうやってできているのか、そしてできるまでどれだけ大変かを感じることができた経験でした。



◇お話の会

年間を通して『飛鳥おはなしの会』の方々に来ていただき、いろいろな絵本や紙芝居などを読み聞かせていただきました。今年度は9月からのスタートとなりましたが、「きょうはなんのおはなしかなあ…」と毎回楽しみにしている子どもたち。3つから4つのお話を集中して聞けるようになり、おはなしの大好きな子に育ってきています。



【今年度のまとめ】

新しい生活様式のもと、例年通りの活動はできなかったものの、地域の方々がいつも子どもたちのことを気にかけてくださり、いろいろな経験をさせてあげようと声をかけてくださいました。その中で子どもたちは周りの人たちに感謝の気持ちをもち、人とかかわる心地よさを感じ、親しみを持って接するようになっていきます。そして、五感を通して様々な体験をすることで、創造性や自発性が育ってきています。

【来年度に向けて】

飛鳥幼稚園は今年度で閉園となりますが、これまでの活動の中で、地域のいろいろな人たちとのかかわりや経験が、子どもたちの成長には欠かせないものだということを実感してきました。今後も地域力を生かして、飛鳥の子どもたちのために様々な活動を展開していただきたいと思います。